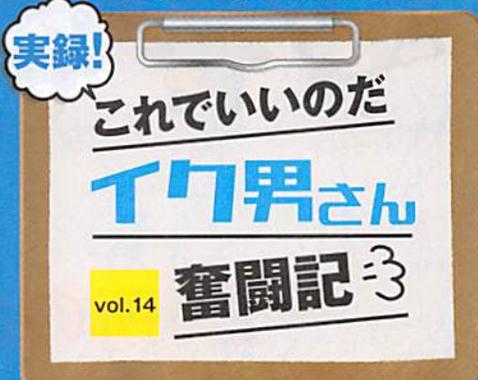


びんまる × 福山市産業振興課



イク男さんの1日

Schedule

- 5:00 授乳
- 6:00 起床・洗濯
- 7:00 朝食
- 8:30 授乳
- 10:00 掃除
- 11:00 授乳
- 11:30 昼食作り・昼食
- 14:00 授乳
- 16:30 授乳
- 17:30 夕食作り・夕食
- 19:00 お風呂
- 19:30 授乳
- 20:30 寝かしつけ
- 21:30 就寝(この後も授乳のたびに起床)

Q 育児休業中、大変だったことは？

掃除・洗濯・朝食晩のご飯作り・抱っこ・お風呂・オムツ替え・育児中は昼夜を問わず授乳に付き合いましたが、時間がかかったり、グズグズしながら飲むことがあったので、熟睡もできず大変でした。帰宅後の時間ほとんど休みの日だけは見えなかったママの大変さを改めて実感し、「あつ」という間に時間が経つ、「何もできない」という言葉に納得すると同時に評価されにくい主婦業に尊敬と感謝の気持ちでいっぱいでした。



Q 育児休業を取得して良かったことは？

フランスボールに座って抱っこすると落ち着くことを発見したり、子どもが大の字になって寝ている姿を見てほほえましく感じたりと、日々のちよつとしたできごとで成長や愛しさを感じました。育児後も引き続き家事や育児を協力して行うことで「コミュニケーションも増え、家族の絆がより深まりました。」



POINT 子どものために!

よく「背中が語る」という言葉を聞きますが、自分が常に子どものお手本であることを意識しています。生活習慣、言葉遣いなど、小さいことでも模範となるよう心がけて生活するのが目標です。



おすすめおてかけスポット

府中市こどもの国ポムポム

府中市土生町1581-7

児童館・子育て世代活動支援センター・「木工のまち」府中市における「木工」(小さいころから木の温かみに触れることで情操を豊かにする)の推進拠点という3つ面を持つ室内施設。桜並木や水辺の広場もあり、季節によってはお花見や水遊びもできます。



今回のイク男さんは



イク男さんProfile

社会福祉法人鏡福祉会 わかばこども園
Name: 小林 佑輔さん(35歳)
妻・長女(7歳)・長男(2歳)

長女が生後3カ月の時3週間取得

長男が生後1カ月の時1週間取得

長男の育休取得時に、長女(当時4歳)にしたインタビュー



—パパがお休みしてどう?
「遊んでくれるし、アイスやお菓子がくれるからいい感じ」と笑顔で答えていました。



2010年、湯崎広島県知事が育休取得され、また広島県には育メンを応援する制度があるので、自分も取得したいと思い、今しかできない子育てのために取得を決意。職場に1週間の取得を相談すると「1カ月取った方がいい」と逆に提案され、周囲の方のおかげで取得できました。育休中は子育て支援に参加したり散歩に出かけたりしましたが、地域の方や育児をサポートしてくださる方の存在の大きさを感じました。

福山市発信

育パパ情報コラム

イク男さんを支援する企業を応援!

今回登場していただいたイク男さん、わかばこども園の小林さんは広島県の湯崎英彦知事に影響を受けて、育休を取得したとのこと。広島県は組織のトップが率先して育休を取得するだけあって、イク男さんを支援する企業を全面的にバックアップしています。

その「つが」いきいきパパの育休奨励金。広島県働き方改革・女性活躍推進課にて、男性従業員が育児休業を1週間以上取得した中小企業等に、育児休業取得期間などに応じて10万円・30万円を支給しています。例えば育児休業を取得した期間が1カ月以上で、子どもが1人目の場合は30万円が支給されます。

この他にも、広島県では全国初の「イクメン企業同盟」を結成したり、「レントひろしま」というホームページで広島県内企業の男性育休取組事例を紹介したりと、イク男さんを支援する企業がどんどん増えていくような取り組みをしています。

イク男さんが働きやすくなるためには、会社が仕事を効率化したり、残業を削減したりすることがどうしても必要になります。個人も企業と一緒に働きやすい職場を「ハイクラス」にする必要があります。

